

令和2年度
獨協医科大学 教育セミナー

コロナ禍における業務改善の取り組み 看護学部の取り組みとその評価 第1報 授業関連

獨協医科大学 看護学部 小西敏子、馬醫世志子、板倉朋世

背景・目的

背景 1. オンライン授業導入決定と学修環境調査

4/1
オンライン授業決定

【オンライン学修環境調査の結果】

4/2~4/3
学修環境調査

- ・ デバイス所持率：スマホ100%、タブレット93.5%、PC48.9%
- ・ 「WiFi/固定回線により動画視聴に問題がない」 80.5%
- ・ 「出席確認はどうなるのか」「接続不良時はどうすればよいか」
「接続不良時のため、後で動画を見れるようにしてほしい」
「質問はできるのか」
「教科書やレジュメはどうなるのか」
「先行きが見えなくて不安」

背景 2-1. オンライン授業デモ配信

4/8
授業デモ配信

学年ごとにデモ配信(約1時間)の実施

【配信内容】

- ・ パワポ、PDF、Word等を用いた講義の視聴方法
- ・ Zoom⇔LMSの切替方法
- ・ 出席入力、リフレクションによる出席確認方法
- ・ チャットやマイク機能による質問方法と発言方法
- ・ 時間割、レジュメの確認方法
- ・ オンデマンド配信の視聴方法 …等々

背景 2-2. デモ配信後調査

4/8
デモ配信後調査

【デモ配信後調査の結果】

- ・9割以上の学生が、「教員の映像/声」「チャット応答」「画面共有」「LMSでの出席入力」「オンデマンド視聴」が問題なくできた。
- ・「授業がイメージできた」と回答した学生 98.0%
- ・「自宅で受講できそう」と回答した学生 98.7%
- ・「接続不良でオンデマンドも間に合わないときの出欠が不安」「資料を印刷して使いたいので早めにLMSにあげてほしい」「LMSが重い」「使い方に慣れず、不安」「学生側のカメラとマイクは常にオンにしないといけないのか」

背景 2-3. デモ配信後調査の結果への対応

4/9
調査結果への対応
(教員への説明)

<教員への説明内容>

4/13
オンライン授業開始

- ・Zoom配信時に領域内で補助教員をつけることを推奨。
(Zoom操作、接続不良等に関する学生対応のため)
- ・出席認定方法
- ・Streamでのオンデマンド配信方法
- ・動画配信方法(Zoom上の配信、LMSへのアップ禁止)
- ・定期試験を実施できない場合の評価方法の設定

背景・目的

約2週間の準備期間の後、オンライン授業を開始したが、通常の授業と同様の教育の質を担保することを目的に、授業改革・授業改善に取り組んだので、ここに報告する。

オンライン授業の概要

- ・授業方法：①Zoom、②LMS等での課題、③録画動画
 - * ①Zoomの配信時間は30分以内。残り60分は課題学修。
 - * ②③の場合もオンデマンドではなく、時間割上の授業時間に実施。
- ・出席管理 (LMS)：①出席入力(講義開始～20分間)
 - ②リフレクションの入力(終了10分前～23:59)
 - * ①②揃って「出席」と認定
- ・授業資料：事前にLMSで配信。
- ・授業の復習：Zoomでのオンライン授業は全て録画され、授業終了後3日間、オンデマンドで視聴可能。

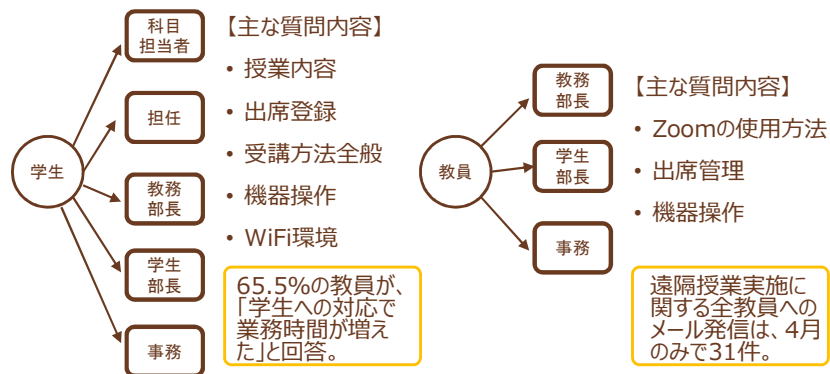
オンライン授業開始後調査（4/16～17）

- ・98%の学生が出席/リフレクション入力できていた。
 - ・8割の学生が映像や音声、画面共有に問題なく視聴できていた。
 - ・6割の学生が教員への質問や相談にチャットを利用していた。
 - ・半数がオンデマンドを視聴し、半数が視聴期間延長を望んでいた。
- + 「授業に慣れてきた」「学校で受けるより効率的」「安全でいい」
- 「回線が繋がらず出席入力に時間を要する」
- 「講義資料を前日の昼までにLMSに載せてほしい」
- 「プリンターがなく、印刷できない」「聞きやすい声で話してほしい」
- 「講義を30分にして自己学修に重きを置く理由を知りたい」

オンライン授業開始後調査の結果への対応

- ・出席入力の開始時間変更：授業開始後⇒授業開始**10分前**
 - ・オンデマンド配信期間：3日間⇒7日間
 - ・Zoom配信30分の理由（容量不足、自ら学ぶ力の育成）を説明
- [以下の内容を教員に周知徹底]
- ・講義資料は可能な限り、授業前日の昼までにLMSに掲載する。
 - ・学生がオンラインで聞きやすい話し方（ゆっくり、はっきり、大きめに）
 - ・配信室で他の教員が視聴する際はイヤホンを使用する。
 - ・アプリの切替は最小限にする。 …その他、個別に多数対応。

学生・教員からの質問に対する主な個別対応



結果

評価指標

- 1) オンライン授業を受けての感想 <学生生活調査_5月実施>
- 2) 前期の授業評価 [経年：2018-2020]
- 3) 自習時間/週 [前年度比較] <GPS-Academic_N1_7月実施>
- 4) 授業時間外の学習時間/週 [単年度] <学生生活調査_5月実施>

オンライン授業を受けての感想 自由記載を一部抜粋

<学生生活調査_5月実施>

【良かったこと】

- ・オンライン授業だと教員と1対1で会話できる
- ・オンライン授業の方が質問がしやすい
- ・30分授業だと集中力が続く
- ・通学時間の分、自己学習の時間が増えた
- ・自己学習で密度の高い時間を過ごせている
- ・課題を以前よりやる気になった
- ・ストレスから解放された生活になった
- ・オンラインでも友達や新たな知り合いができた

【困っていること】

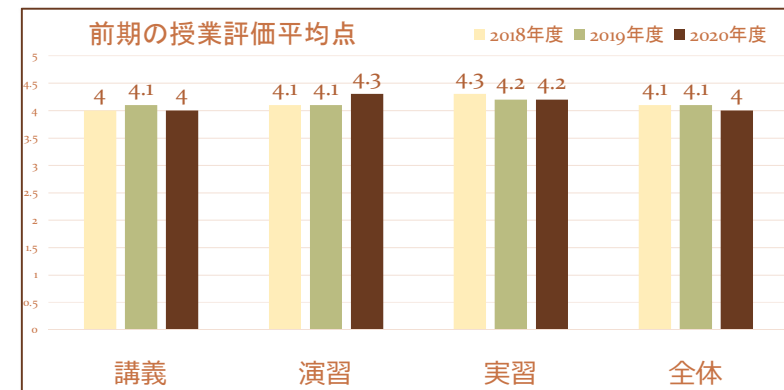
- ・課題が多すぎる
- ・課題を詳しく説明してほしい
- ・周りの様子がわからず不安
- ・学ぶべきことをしっかり学べているか不安
- ・自分で学修しなければいけないのが不安
- ・実習前に演習をしたい
- ・課題や出席登録がきちんとできているか不安
- ・画面を見すぎて疲れる
- ・レジュメが配布されず困っている
- ・資料を紙媒体で郵送してほしい
- ・データ通信量が不安

授業評価の評価項目：講義科目

- ① 講義の目的・目標・要点が明確であった
- ② 質問しやすい雰囲気であった
- ③ 講義内容がシラバスに沿っていた
- ④ 重要点が強調されていた
- ⑤ 明瞭で聞きやすい話し方であった
- ⑥ 講義のスピード・量が適切であった
- ⑦ 教材や講義資料は、理解を助けるものであった
- ⑧ 講義の全体像がつかめる授業であった
- ⑨ 学習意欲・研究や医療・看護に対する考えを深められる講義であった
- ⑩ 事前学習と講義内容は関連していた
- ⑪ 他の科目との関連（位置づけ）がわかる講義であった
- ⑫ 総合的に評価すると、到達目標が達成できる講義であった
- ⑬ 講義は本科目が依拠するディプロマ・ポリシーを達成するために効果的であった

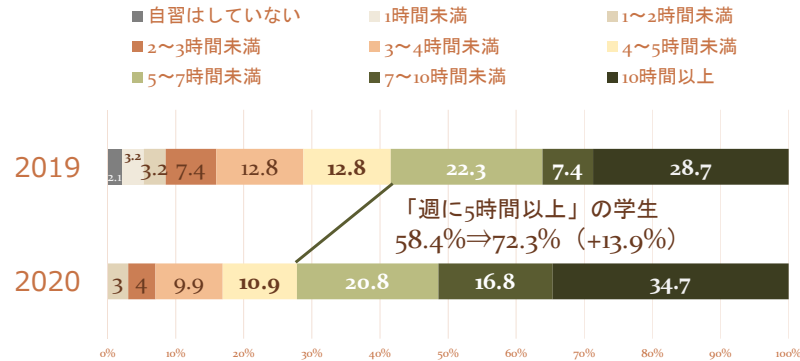
1) 授業評価 [経年：2018-2020]

講義51、演習3、実習3科目



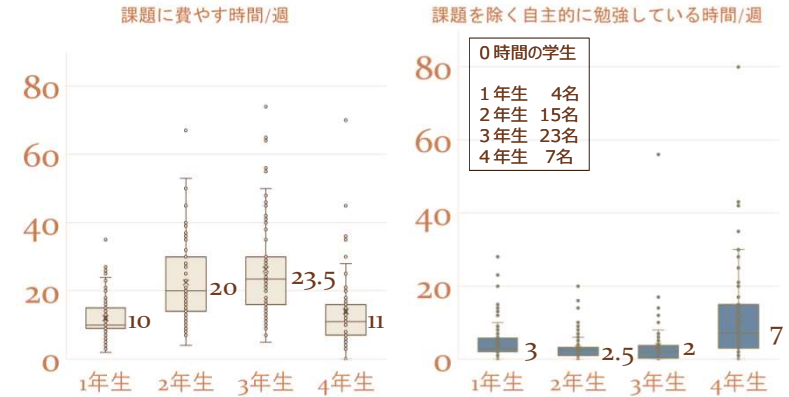
2) 自習時間/週 [前年度比較]

<GPS-Academic_N1_7月実施>



3) 授業時間外の学習時間/週 [単年度]

<学生生活調査_5月実施>



まとめ

まとめ

コロナ禍において、看護学部では、教育の質の維持を目的にZoom/LMSを用いたオンライン授業を行い、以下の結果を得た。

- ① 学生の感想：「質問がしやすい」「自己学習の時間が増えた」との回答がある一方、「課題が多すぎる」「周りの様子がわからず不安」との声もあった。
- ② 授業評価：例年とほぼ変わらず。
- ③ 自習時間：「週5時間以上」が前年度に比べ13.9%増加。
- ④ 課題に費やす時間：1・4年生 1.5時間、2・3年生 3時間/日程度
自主的に勉強している時間：1日換算で20分～1時間/日程度。

今後の課題

- 自習時間は昨年度より増えたが、課題に費やす時間が多く、自由に学習できる時間があまりないため、自ら学ぶ環境調整が必要。
- 授業評価や学生生活調査の結果から、オンライン授業はますます好評だったと思われる。しかし、「教育の質」に関する評価はこれからであり、さらなる検討が必要。

ご清聴ありがとうございました
